

会議結果について

平成23年第3回市議会定例会は、9月6日招集され、会期を9月15日までの10日間と定め、一般質問は12、13日の2日間5名の議員より市の行政全般にわたり行われたほか、議案等38件の審議を行いましたので、その内容についてお知らせします。

□報告

次の4件が報告されました。

- 平成23年度に公表する健全化判断比率について
- 平成23年度に公表する資金不足比率について
- 継続費精算報告について

平成21～22年度の継続事業(北浜汚水中継ポンプ場電気設備及び自家発電設備改築事業)が終了したことから下水道事業会計継続費の精算報告がされました。

- 平成22年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告について

□補正された予算

平成23年度一般会計予算に4億5千527万1千円が追加され、総額で158億5千334万円となりました。

追加された内訳は次のとおりです。

- 総務費 4億573万9千円
- 民生費 406万円
- 衛生費 1千535万2千円
- 農林水産業費 2千912万円
- 商工費 100万円

このほか、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計についても予算補正が行われました。

□決算の認定

平成22年度一般会計、各特別会計及び各事業会計の決算認定については、決算審査特別委員会(定数9名)を設置し、同委員会に付託し、閉会中継続審査することになりました。

委員長 阿部 秀明 副委員長 石田 哲夫

委員 梶川 友子、円角 光、牧野 正則、鈴木 敏弘、阿部 徹、阿部 徳明、
藤川 和子

□可決された主な条例

◆紋別市税条例の一部改正について

現下の厳しい経済状況及び雇用情勢に対応して税制の整備を図る観点から、個人市民税における寄附金税額控除の対象の見直しなど、地方税法等の一部改正に伴う市税全般にわたる所要の改正及び文言の整理が行われました。

◆紋別市体育指導委員設置条例の一部改正について

スポーツ振興法の全部改正によるスポーツ基本法制定に伴い、本条例の名称を紋別市スポーツ推進委員設置条例に改めるなど、所要の改正が行なわれました。

◆紋別市テレビ共同受信施設管理条例の廃止について

地上デジタルテレビ放送への完全移行が終了し、宇津々地区テレビ共同受信施設の必要が

なくなったことから、本条例が廃止されました。

◆紋別市下水道条例の一部改正について

下水道使用料は、平成15年7月に改定して以来、現在まで据え置いてきましたが、財政収支期間内における資金不足の回避と、事業運営に必要な資金を確保するため、基本水量の見直しによる下水道使用料の増収改定をするため、所要の改正が行なわれました。

□人事

◆紋別市選挙管理委員会委員並びに同補充員の選挙

任期満了に伴う本市選挙管理委員会委員並びに同補充員の選挙の結果、次の方が当選されました。

○選挙管理委員会委員（敬称略）

安田昭博（花園6）、安田美智子（元紋別）、住吉榮樹（落石4）、藤本道樹（上渚滑）

○選挙管理委員会委員補充員（敬称略）

加藤洋子（花園5）、大桃晃龍（南が丘2）、鈴木多恵子（花園2）、井山等（本7）

□意見書

次の11件が原案可決されました。

◎森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書

◎平成24年度農業予算編成ならびに税制改正に関する意見書

◎学校施設の防災機能向上のための新たな制度創設を求める意見書

◎原子力発電所における「国の防災指針」の見直しを求める意見書

◎電力多消費型経済からの転換を求める意見書

◎JR三島・貨物会社に係る税制特例の恒久化等を求める意見書

◎2012年度「公立高等学校配置計画案」の撤回・再考を求め、地域や子どもの実態に応じた高校づくりを実現する意見書

◎軽油引取税の課税免除措置などの恒久化を求める要望意見書

◎原子力発電からの脱却と自然エネルギーの推進を求める意見書

◎大規模災害時に備えた公立学校教職員派遣制度の創設を求める意見書

◎自治体クラウドの推進を求める意見書

□その他

◆紋別市議会副議長の不信任に関する決議

上記決議案が鈴木敏弘議員他4名の議員から9月15日に提出され、同日、採決した結果可否同数のため、議長裁決により否決されました。